



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 データセクション株式会社

コード番号 3905 URL <http://www.datasection.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 澤 博史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 望月 俊男

TEL 03-6427-2565

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	415	39.0	49	443.1	45	221.8	30	195.6
28年3月期第3四半期	299	12.9	9	△82.8	14	△72.1	10	△70.8

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 30百万円 (205.8%) 28年3月期第3四半期 9百万円 (△71.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	2.94	2.64
28年3月期第3四半期	1.02	0.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	1,150	1,061	90.8	98.64
28年3月期	1,066	1,011	93.8	96.95

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 1,044百万円 28年3月期 999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	580	31.9	65	127.7	60	64.3	35	36.5
								3.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	10,591,000 株	28年3月期	10,313,400 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	— 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	10,412,882 株	28年3月期3Q	10,136,134 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P. 3「1. 当四半決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、平成28年7月～9月期の実質GDP成長率がプラス0.3%（年率換算1.3%）となり、3四半期連続でプラス成長、緩やかではありますが、回復基調が続きました。

このような状況の下、当社グループが属するITサービス市場は平成28年度も好調な市場環境を維持しております。特にAI（人工知能）市場は、平成27年度には1,500億円であった市場規模が、平成32年には1兆20億円に達する見込み（※1）であり、拡大の一途を辿っております。当社グループでは、従前よりAI技術を活用した新規事業、人材、研究開発に投資を行っておりますが、当第3四半期連結累計期間においては、次の通りの成果が上りました。

まず、IoT（Internet of Things）をキーワードとしたAI技術を活用した新規事業は、物流業界と業務提携を行い共同研究開発を開始いたしました。高度化、効率化が求められる物流業界をAIにより分析、判断を行うことで在庫、人員、ラインコントロールの最適化を目指しております。また、中部経済新聞社の70周年記念企画「AI記者」にて行った同記事執筆は100を超すメディアに掲載され、当社のAI技術が改めて評価されました。

次に、海外進出の状況としましては、ディープラーニング技術を活用した不適切画像フィルタリングサービスなどの既存ソリューションの販売だけでなく、当社のAI画像解析を活用したサービスの開発をインド、タイにおいて新たに開始いたしました。

また、平成27年8月末より運用開始をしておりますMASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・ファンドは平成28年の年間運用成績が国内株式のロング・ショート戦略を持つ国内の著名ファンド（※2）の中でトップクラスの実績を実現しました。

（※1 出典：富士カメラ総研）

（※2 日本株式に投資し、戦略を開示している公募投信で、純資産残高が5億円以上のもの（出典：Bloomberg））

以上の結果、売上高415百万円、営業利益49百万円、経常利益45百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

（売上高）

当第3四半期連結累計期間の売上高は415百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

サービス別の状況は次の通りであります。

#### イ. SaaSサービス

SaaSサービスにおいては、ソーシャルメディア分析ツール「Insight Intelligence」、書き込みアラートサービス「Insight Checker」、テキストマイニングツール「Easy Mining」、事故・災害情報検知サービス「Social Hazard Signage」及び不適切投稿監視サービス「Social Monitor」を提供しております。

#### ロ. ソリューションサービス

ソリューションサービスにおいては、顧客が持つ「自社内ビッグデータ」を元に当社グループに蓄積されている「ソーシャル・ビッグデータ」を組み合わせ、前述のSaaSサービス技術を活用したセミオーダー型システム開発を行うものです。

昨今は、製造業・物流業などから自社内に保有するさまざまなビッグデータを業務改善に活用やビッグデータをAIに活用したいという企業側の要望もあり、そうしたニーズに基づいた物流最適化へのビッグデータ活用やロボテックなど、従来の業務領域の枠にとどまらない事業展開を視野に入れた活動を継続して行っております。また、株式会社共同通信イメージズとの資本業務提携を契機に、報道機関へのソリューション事業展開を進めております。

#### ハ. リサーチコンサルティングサービス

リサーチコンサルティングサービスにおいては、SaaSで提供するサービスだけでは自社の要望を可視化することが困難な顧客に対し、商品やプロモーションに対する口コミの専門家分析や、消費者と企業とのつながり度を高めるソリューションを提供するものであります。

従来からの国内レポート事業、海外インバウンドサービスに加え、連結子会社であるWeavers株式会社と株式会社インテージとの資本業務提携を行っております。データセクショングループの保有するビッグデータ分析力や高度なAI技術と、インテージグループの保有するリサーチノウハウ・データ解析力・システム化技術を活用することで、生活者と企業に対するリサーチコンサルティングに基づく新たな共創メディアの立ち上げを推進してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、862百万円となり、前連結会計年度末に比べて10百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が36百万円減少したものの、現金及び預金が34百万円、その他流動資産が12百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、287百万円となり、前連結会計年度末に比べて73百万円増加いたしました。この主な要因は、無形固定資産のうちソフトウェアが15百万円、投資その他の資産のうち投資有価証券が38百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、85百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。この主な要因は、未払金が7百万円減少したものの、未払法人税等が16百万円、その他流動負債が18百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万円増加いたしました。この要因は、資産除去債務が1百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,061百万円となり、前連結会計年度末に比べて49百万円増加いたしました。この主な要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3百万円増加すると共に、親会社株主に帰属する四半期純利益を30百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の事業の動向等を踏まえ、平成28年11月11日に公表いたしました平成29年3月期(通期)の連結業績予想を修正いたしました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成29年2月13日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、新たな予想値は前回公表した業績予想のレンジの範囲内となっております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	718,509	752,826
受取手形及び売掛金	124,174	88,023
その他	9,429	21,705
流動資産合計	852,113	862,555
固定資産		
有形固定資産	28,772	31,959
無形固定資産	105,624	123,407
投資その他の資産	79,783	132,571
固定資産合計	214,179	287,938
資産合計	1,066,293	1,150,494
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	31,496	24,073
未払法人税等	3,192	19,297
賞与引当金	-	6,328
その他	17,640	35,668
流動負債合計	52,329	85,366
固定負債		
資産除去債務	1,988	3,507
固定負債合計	1,988	3,507
負債合計	54,318	88,874
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	511,642	515,530
資本剰余金	282,745	293,156
利益剰余金	205,457	236,031
株主資本合計	999,845	1,044,718
新株予約権	7	7
非支配株主持分	12,121	16,893
純資産合計	1,011,974	1,061,619
負債純資産合計	1,066,293	1,150,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	299,017	415,516
売上原価	139,304	192,060
売上総利益	159,713	223,456
販売費及び一般管理費	150,583	173,875
営業利益	9,129	49,580
営業外収益		
保険解約返戻金	5,832	-
消費税免除益	1,133	1,089
その他	596	109
営業外収益合計	7,562	1,198
営業外費用		
有価証券運用損	2,001	71
持分法による投資損失	437	3,780
為替差損	-	1,174
その他	35	-
営業外費用合計	2,474	5,026
経常利益	14,217	45,752
特別損失		
減損損失	-	5,870
特別損失合計	-	5,870
税金等調整前四半期純利益	14,217	39,882
法人税、住民税及び事業税	5,469	20,087
法人税等調整額	△1,205	△10,645
法人税等合計	4,263	9,441
四半期純利益	9,954	30,440
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△390	△133
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,344	30,574

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	9,954	30,440
四半期包括利益	9,954	30,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,344	30,574
非支配株主に係る四半期包括利益	△390	△133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。